



CSWニュース代表報告

2025年5月16日
横井桃子

自己紹介



- CSW64 BPWユースインターン
- Speak Up Sophia共同創設者
 - 上智大学にて、性的同意の大切さを広める活動を2018年ー2020年まで展開。
- NPO法人 mimosas副理事
 - 2021年より参加。若者に向けた性暴力防止の啓発や、正しい知識の普及に取り組んでいる。
- 9月より、UCL大学院にてジェンダー学専攻予定

インタラクティブ・ダイアログ



- ・ 訴えた内容：
 - CSWの対話を**実効性ある変化**に
 - **包括的性教育**の必要性
 - 被害者支援への**財政的投資**
 - **ユース参画**の重要性
- ・ 印象的だった発言
「私たちは、どれほどの時間を快適な会議室での議論に費やしてきたか？」
→ 実際の行動と変化への力強い問いかけ
(プラン・インターナショナル代表)

CSWの活性化に向けたユース代表の対話

● 3月14日 @ UN Women本部

各国ユース代表が集まり、CSWのあり方についてオープンディスカッションを実施

- ・ ユース代表の**選出方法・人数・資金援助の違い**
- ・ 各国政府が**ユースの声にどう責任を持つか（Accountability）**
- ・ CSWが現実社会とつながるための課題と提案

● 帰国後のUN Women主催ユース会合でも議論は継続

- ・ CSWの形式化・象徴化への懸念
- ・ 「声を上げるだけ」から「政策決定に関わる若者」への進化を目指して実効性ある対話とステークホルダーとの接点の必要性が共有された

帰国後の活動

社会へのアクション：

法人向け**アクティブ・バイスタンダー**研修をローンチ

すべての人が「心理的安全性のある職場」で働けることを目指して

- ・ハラスメントを“見て見ぬふりしない”文化をつくる
- ・行動できる“介入者（Active Bystander）”を増やす

個人のアクション：

今回の経験を通じて、**アドボカシー**への関心が一層高まった。

- ・ロンドンでは、現地NGOを通じてアドボカシーの力を磨く
- ・将来的には、国際機関や公共政策の場でジェンダー分野にフルコミットするキャリアを視野に入れている